

## 1. 英語の教科書を効果的に活用する指導の工夫

—児童生徒の「なぜこの題材を学ぶの？」に答える—

講 師：田村 岳充

実施日・時間：7月30日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A23教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援教育学校等の教員

定 員：30名

準 備 等：使用している英語の検定教科書

自作のワークシート、自校のCAN-DOリスト

概 要：小・中・高の英語の教科書を効果的に活用する指導の工夫について具体的に学んでいきます。特に、単元で扱われる題材について、児童生徒がなぜそのことを学ぶのかを実感し、必要感を抱いて学ぶことができる授業作りについて考え、夏休み明けの実践につなげられるようにします。授業の映像視聴や受講者間のディスカッションを通して協働的に学びましょう。

## 2. 教職についての理解を深めよう

講 師：大島政春 尾崎承子 関口健一 井口桂一

実施日・時間：7月31日（水） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小・中・義務教育学校の臨時的任用職員

定 員：30名

準 備 等：特にはありません。

概 要：本講座は、現在、臨時的に任用され、学校経営の充実のために尽力されている先生方に、教師としての実践的な学びを提供するために開催するものです。

具体的には、以下の4講座を開講します。

① 学習指導～「主体的・対話的で深い学び」をどう実践するか～

② 学級経営～「集団づくり」にどう取り組むか～

③ 学校経営への参画～組織の一員として～

④ 児童生徒指導～子ども理解、問題行動等への対応・支援～

そ の 他：本講座は臨時的任用者対象の講座ですが、その他の方々の受講も可とします。

### 3. アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan

#### ～蒔絵・漆絵 ワークショップ～

講師：松島さくら子

実施日・時間：7月31日（水） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟1階図画工作室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：12名

準備等：・エプロンなど作業に適した服装（できれば長袖）

・材料費 1500円（漆塗板、漆、顔料、金粉等 その他）

・黒塗り板に色漆（8色程度）による絵付けや、金銀粉の蒔絵を想定し、図案の構想をしておいてください。

概要：漆芸を中心に日本やアジアの工芸を紹介する講義と、本漆による器への蒔絵・漆絵ワークショップを行います。身近に日本の伝統工芸を体験する機会となることを望んでいます。

その他：漆は皮膚につきまるとかぶれの現象を起こすことがありますので、ご理解の上ご参加ください。（作業用ゴム手袋は用意しております）

### 4. 「特別の教科 道徳」の授業デザイン

講師：和井内良樹・上原秀一

実施日・時間：8月1日（木） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：30名

準備等：特になし

概要：令和6年度は、小1から「特別の教科 道徳」（道徳科）で学んだ児童が中学1年生になる年です。道徳の教科化で何が変わったのでしょうか。小中学生の道徳性の育成に向けて道徳科の授業デザインをどのように行ったらよいのでしょうか。具体的な教材を使ってこの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。

## 5. ICT を活用したものづくりについて考える

講 師：石島隆志

実施日・時間：8月1日（木） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：16名

準 備 等：ノートパソコン、Google アカウント

概 要：GIGA スクール構想で整備されたタブレット端末の活用を想定したものづくりについて、グループワークにより協調的に考えていきます。

- ・Tinkercad を用いたモデリング
- ・3D プリンター・レーザー加工機による造形
- ・AR（拡張現実）WEB アプリの作成
- ・計測・制御プログラミング 等

本講座は、どの学校種からでも参加が可能です。日々の授業のヒントとなるような教材・教具を提案します。

## 6. 楽しく調理しながら家庭科食領域の SDGs を考える

講 師：カバリエロ 優子

実施日・時間：8月2日（金） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟2階調理実習室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：受講希望者は、どんな調理実習をしたいか、サマーセミナーで取り上げてほしいテーマなどを事前にお伝えください。講座内容に反映させたいと思います。

当日は、エプロン、三角巾と調理実習費 500 円程度をご持参ください。

概 要：家庭科食領域は、科学的、社会的な視点を広げることによって、よりよい生活を営むための学びを得ることができると考えています。

今回は、参加者の方々のニーズに答えながら、楽しく調理実習し、そこから SDGs の授業に発展できるような授業の提案をしたいと思います。

## 7. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

講 師：石川由美子・齋藤大地・福田奏子

実施日・時間：8月5日（月） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味  
関心のある方

定 員：20名

準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度  
に当日ご持参ください。

概 要：幼児・児童・生徒が“この今”自身の手持ちの力を使って充実して生きることが  
できる環境（対象としての人やモノ）を教育の場に整え共に生き合う。その先  
にやっと“できる（自立）”を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみ  
えてくるかもしれないのであって、“できるようにさせる”ための教育目標と手段  
が“自立”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)ではないだろう。ひとりひとりの手  
持ちの力で“この今”を生き合うことができる教育という視点から、教育を考  
える対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と参加者  
だから創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしていま  
す。

## 8. 若手教員が保護者と関係づくりをするためのヒント

講 師：川原 誠司

実施日・時間：8月5日（月） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階小会議室

対 象 教 員：小・中（教職経験10年未満の方を念頭に置いています）

定 員：20名

準 備 等：ご自身が保護者との間で苦慮していることについて、記入シート（Wordファイル）  
A4判1枚を事前に送りますので、それに記入し、開講日7日前までにメールで添  
付提出してください。

概 要：若手教員にとって、保護者との関係は大きく苦慮すると考えます。調査研究でも  
ストレスや悩みとしてよく挙げられます。中には一筋縄ではいかない事例もあ  
り、疲弊する様子も垣間見られます。本講座では、若手教員の方に保護者の心理  
的な動きやコミュニケーションの方法などについて具体的に説明し、現実的な対  
応の仕方を含めて考えてもらい、明日からの保護者対応に少しでもヒントになる  
ものをつかんでいただきたく思います。

## 9. 子どもの遊び・生活と学習－調査からみえてくること

講 師：丸山剛史

実施日・時間：8月6日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館1階8E11教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校

定 員：30名

準 備 等：特になし

概 要：1)『日本生活時間調査』等を用い、子どもの生活時間の変化（例、睡眠時間の減少）について、2)子どもの遊びの希望と実際の調査結果について（例、遊ばない子、遊びたくない子も出現）、3)児童期の遊びの事例研究の結果（小学生の遊びの上位に「おしゃべり」）について説明します。私は学校が子どもの遊びの「最後の砦」になっていると考えますが、教員の皆さんはどう考えるか、学校でなにができるか、グループ討議で考えたいです。

## 10. 異界と転生の世界史

講 師：下田 淳

実施日・時間：8月7日（水） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館3階社会分野セミナー室2

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：30名

準 備 等：なし。資料は印刷して配付します。

概 要：本講義は、古代から近現代まで、東洋西洋の「輪廻転生「生まれ変わり」の宗教・哲学の歴史を概観します。主な話は以下の通りです。

- ・神話のなかの「生まれ変わり」
- ・古代ギリシアにおける輪廻転生論
- ・キリスト教徒輪廻転生論
- ・ユダヤ神秘主義の輪廻転生論
- ・イスラムの輪廻・転生論
- ・ヒンドゥー教
- ・仏教
- ・中国と輪廻転生論

## 11. 「書くこと」「聞くこと」を中心とした言語活動の学習指導

講 師：高井太郎・神田恵美子

実施日・時間：8月7日（水） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A23教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校

定 員：30名

準 備 等：特になし

概 要：前半は、2015年にグローバル・ティーチャー賞を受賞した中学教師ナンシー・アトウェルの作文指導法を取り上げます。作文ワークショップと呼ばれる彼女の方法を、文章心理学の研究成果に基づき解説していきます。後半は、「能動的に聞くこと」についてのワークショップを行います。メモやノートの取り方・インタビュー等の実践を通して、聞き方のポイントを解説します。

## 12. 失敗しない生物実験

講 師：井口智文

実施日・時間：8月8日（木） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟4階基礎生物学実験室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援教育学校

定 員：12名

準 備 等：染色液を使用するので白衣を持っている方は持参して下さい。（なくても受講は可能です。）

概 要：生物実験は失敗することが多く授業で行う場合苦勞を伴います。本講座では、中学校理科の生物実験を中心に「動物細胞の観察」「染色体の観察」「葉の断面の観察」「気孔の観察」「DNAの抽出」などいくつかを精選し、実験成功のポイントを解説し実際に体験して頂きます。また、教科書記載実験をベースにした応用的内容の実験も紹介しますが、基礎的な実験が多く、生物実験をあまり得意にされていない方向けの講座となります。

そ の 他：令和5年度の講座の実験を一部変更して実施します。

### 13. 著作権について学ぶ

講師：新井 恵美

実施日・時間：8月8日（木） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館1階6A11教室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等（著作権の概要について初めて学ぶとする方）

定員：30名

準備等：特にありません。

概要：オンライン授業、GIGAスクール構想などにより、著作物の取り扱いについて意識する機会が増えてきているのではないのでしょうか。本講座では、著作権に関する最低限の知識を身につけていただくことを目的とします。また、学校現場で発生しうる著作権の課題について、立ち止まって考える機会となることを期待しています。

### 14. ICTを活用して地球を探究する

講師：瀧本家康

実施日・時間：8月9日（金） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階基礎地学実験室

対象教員：主として中学校理科・社会科教諭

定員：16名

準備等：PC、タブレット、スマートフォン（モバイルwifiなどがあると便利です）

概要：理科の他の分野（物理・化学・生物）と異なり、地学は教室内で実物の観察や実験が難しい科目です。しかし、近年ではそれらをICTを用いることでカバーできたり、探究的な活動を行ったりすることができるようになりました。この講習では、地学分野の中でも最も基本となる「地球」についてICT（PCやタブレット、スマートフォン等）を活用した探究活動を実際に行います。参加に当たっては、お手持ちのスマートフォンを活用していただくのが一番ですが、こちらでもタブレット等を一定数準備します。（内容は2022, 23年度と同じです）

その他：動きやすい服装・靴等をお願いします。

受講要件：・Gmail等でのメールのやり取りがスムーズに行えること

（受講前にメールでのやり取りがあり、遅滞なく連絡を取ることが可能なこと）

・Googleアカウントを所持している、あるいは参加に際して所持していただくこと

・Excelで一般的なグラフを作成できること

・WEBブラウザの一般的な操作を容易に行えること

・受講に際し、ICTの熟達度について不安がある場合は、申し込み前に相談ください

## 15. 子どもの運動能力・体力向上を目指した運動学習の理論と実践

講師：加藤謙一・松浦佑希

実施日・時間：8月9日（金） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員

定員：20名

準備等：筆記用具、はさみ、マジック（簡単な教具を作成します）、トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ

概要：本セミナーは、現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、運動発達の理論をもとに、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。前半は、運動発達に関する概論と運動遊びをもとにした学習教材を紹介します。（加藤）

後半は、体づくり運動の実技をもとに準備運動や体育授業や運動部活動等で応用できる学習教材を紹介します。（松浦）

その他：講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい（見学可）。実技内容はハードではないのでご安心下さい！

## 16. 鍵盤ハーモニカの両手演奏にチャレンジしよう

講師：新井 恵美

実施日・時間：8月20日（火） 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館1階6A11教室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校（音楽が専門である必要はありません。鍵盤で小学校教材程度のメロディーが弾け、鍵盤ハーモニカの両手演奏にチャレンジしてみたい方。）

定員：15名

準備等：32鍵以上の鍵盤ハーモニカ（全員）、ストラップピンの付いている楽器を持参する場合はそれに適したストラップ、ストラップピンの付いていない楽器を持参する場合はショルダーバッグのストラップ

概要：音楽の授業（特に小学校）で用いられることの多い鍵盤ハーモニカは、教育用と思われがちですが、近年はプロのプレイヤーも多く活躍しています。この講座では、鍵盤ハーモニカの両手演奏にチャレンジします。鍵盤ハーモニカを机に置いてピアノと同じように吹いたり、楽器を縦に構えて吹いたり、ご自身の演奏スタイルを確立しつつ、楽器の特性についても学びます。最後に、受講生それぞれに演奏をしていただきます。



## 17. 数学的に考える力を育てる授業づくり:数量の乗法的な関係に着目する力に焦点を当てて

講 師：日野圭子

実施日・時間：8月20日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校教員・中学校数学科教員

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：算数・数学科において、数学的に考える力の育成は、益々その重要性が高まっています。本講座では、子どもにおける課題が指摘されている数量の乗法的な関係に着目したり考察したりすることに焦点を当てていきます。小学校低学年からどのような支援が可能かを、具体的なデータも参照しながら考えていきます。本講座は、グループワーク等を取り入れながら進めていきます。話し合いを通して、自身の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにしたいです。

## 18. 子どもの自己肯定感を育むリズム遊びの理論と実践

講 師：長谷川万由美 石川隆行 宮代こずゑ 稲川知美

実施日・時間：8月22日（木） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園遊戯室

対 象 教 員：幼稚園保育園等・小学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：ドラムを足ではさむ場合があるのですべりにくい材質のズボンが望ましい

概 要：本講座では、子ども同士の関わりを通して自己肯定感を高めることを目的としたリズム遊びの理論と実践について学びます。具体的実践としてリズムアンサンブルの効果に着目して、ドラムサークル(参加者が輪になって打楽器を演奏する)をとりあげ、ドラムサークルファシリテーションの基本を学びながら、教育現場で生かす方法を検討します。

## 19. 演奏における指揮をよりわかりやすく

講 師：高島章悟

実施日・時間：8月23日（金） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 大学会館多目的ホール

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の音楽に携わる教員なら専門教科に関わらずどなたでも受講可能

定 員：15名

準 備 等：指揮棒を持参してください。楽譜はこちらで用意いたします。

概 要：普段現場等で、指揮をする機会があるかと思います。しかし、習ったことのある経験が少ないのが現状のようです。そこで、指揮を見直しメカニズム・注意点、楽譜（スコア）の基本的な見方など、状況に応じてレクチャーし、改善に繋げてもらうようにしていくことを目的としています。

## 20. ICT を活用した物理実験を体験しよう

講 師：瀧本家康・夏目ゆうの

実施日・時間：8月23日（金） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

8号館C棟5階基礎物理学実験室・8号館C棟3階基礎地学実験室

対 象 教 員：主として中学校・高等学校理科教諭

定 員：12名

準 備 等：スマートフォンまたはタブレットとノートPC

概 要：近年、スマートフォンやタブレット等の端末で利用できる教育上有用なアプリが増えています。その中には、デバイスの高性能なマイクや加速度センサーなどを用いて、物理実験の各種測定が可能な無料のアプリもあります。これまでアナログで行っていた測定をデジタルで行うことが可能となっています。本講座ではどの学校でもすぐに利用可能な実験を体験していただき、日々の授業に活用できる材料を提示します。